

## 1 事業報告（平成30年度 平成30年4月1日～平成31年3月31日）

### 1. 人材の養成に関する育英事業(公益目的事業1)

- (1) 平成30年度の新規貸費生は14名（貸費月額は、4万円が10名、2万5千円が3名、継続して大学院に進学した1名を含む）、継続者を含めた貸費生の人数は59名、貸費金の合計は金25,440,000円でした。また、受入返金額は、金32,518,000円で期末の貸費学資金の残高は、金179,767,000円（前年度末日比7,078,000円減）となりました。
- (2) 風間若葉氏から遺贈を受け新設した給付型の若葉奨学基金は、4名の給付生に年間計960,000円を給付しました。また平成31年度の給付生3名を内定いたしました。

### 2. 文化財の維持・管理および公開事業(公益目的事業2)

- (1) 平成30年度の「丙申堂」と「無量光苑釈迦堂」の入場者数は、両堂合計で16,919名（うち丙申堂9,938名、釈迦堂6,981名、前年比581名減）でした。昨年と比較して、丙申堂では300名ほど増えましたが、釈迦堂で900名ほど減少しています。ただ、丙申堂の増加は3月のお雛様のお里帰り展示（昨年比約400名増）によるもので、まだまだ底を打ったとは言い難い状況です。
- (2) 7月7日(土)～10日(火)の期間「庄内刺し子展 昔と今」を丙申堂で開催しました。これは「第11回国際絞り会議 in JAPAN 山形本会議」の展覧会・庄内会場として参加したものです。古布や刺し子のコレクター鈴木満子氏が集めた“昔の刺し子”と、さとう恵美氏や平田さしこの会が制作した作品“今の刺し子”、合わせて約150点を展示しました。この会議に参加した70名を超える外国人を含め4日間で約900名の方が入場されました。
- (3) 8月30日(木)に山口大学人文学部准教授、尾崎千佳氏の講演会「宗因から芭蕉へ」を丙申堂で開催しました。これは、毎年7月に丙申堂を会場に展示や句会を実施している「海坂の芭蕉小祭り」の関連事業として行い、NPO法人公益のふるさと創り鶴岡との共催です。和歌から連歌、連歌から俳諧へといった日本の韻文の歴史の流れをわかりやすくお話していただきました。参加者は約20名。皆熱心に講演を聞き入り、講師も感激しておられました。
- (4) 9月14日(金)19時から丙申堂の板の間で「ジョン・ラッセル&ストーレ・リアヴィーク・ソルベルク Japan Tour2018」を開催しました。鶴岡に最近移住された、サクソ奏者松本健一氏からの依頼で会場貸しをいたしました。フリージャズの即興演奏で難しいと思われた方もいらしたようですが、60名を超える来場者は皆最後まで集中して演奏を聴いていました。

- (5) 12月2日(日)「ニッポンたからものプロジェクト 山形県鶴岡公演」(主催：文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協))は「日本遺産」と「芸能」を掛け合わせた企画。芸団協から鶴岡市教育委員会経由で依頼を受けて会場を貸しました。日本遺産「サムライゆかりのシルク」と津軽三味線・民謡の浅野祥、和太鼓の三浦公規、ピアノの末永華子のライブを掛け合わせた内容。入場者は約160名で立ち見の方もおられました。

### 3. 山林を活用した地球環境保全事業(公益目的事業3)

- (1) 藤沢の山林で開催している森林体験学習会について

春：6月17日(日)、子ども6名、大人4名、スタッフ9名の合計で19名が参加。天候に恵まれ、森林インストラクターの植物を使った遊びや実験などで楽しみながら岩屋洞窟まで探検した。ミズの味噌汁や山菜の天ぷらなどで昼食。午後には間伐体験をした。

秋：11月10日(土)、子ども6名、大人3名そしてスタッフ8名の計17名。雨天のため山に行くのは中止。丙申堂の見学をした後に、釈迦堂庭園でトチの実や栗拾いをした。そして、場所を江鶴亭に移し、間伐材で作った椅子のキットを組み立てた。

- (2) 山林の整備事業については、今年度も下刈、枝打、つる切、間伐、植付等に努めました。

### 4. 土地、建物の貸与事業(収益事業)

- (1) 基本財産の土地、建物を(株)庄交コーポレーション外に、また特定資産の駐車場を一般利用者に賃貸しました。運用財産の土地、建物(銀座通り、旧金屋リビング)は、(株)NHK文化センターに賃貸しております。平成29年度に購入した隣地駐車場については、冬期間、消雪用の水が出なかったり、逆に出すぎてしまったりと数回トラブルが発生しました。設備が古いこともありますが、次の冬に向け調整できるようにしていきたいと考えます。

今年度の賃貸売上は39,676,405円となりました。

- (2) 日本仏教史研究講座、特に聖徳太子講座開設等の運用資金として、公益財団法人中村元東方研究会東方学院へ、昨年同様40万円の寄付をしました。

また、日本仏教研究の為、東京大学文学部印度哲学仏教学研究室に対し例年同様50万円の寄付をしました。

以 上